關大
発行所 関西大学校友会
大阪市大淀区長柄中通二丁目
編集兼発行人　長柄　金吾
電話堀川（35）代表2072番
振替口座大阪55594番

株式・公社債・投資信託
山一證券
本社 東京日本橋兜町
大阪支店 大阪東区今橋三

31年度校友総会開催

千里山第一学舎講堂で

昭和三十一年度校友総会は十二月八日（土）午後二時から千里山第一学舎講堂で開催した。週日の午後であったが全国から寄せられた出席通知は七百名におよび、東京、金沢、名古屋、徳島、岡山など遠隔の支部長、支部代表などぞくぞくと参集し近年数億の巨費を投じて面目を一新した千里山学舎の諸施設の長から過去七十年前に十七名の卒業生を送った母校が発展して現在は年々約三千名に及ぶ多数の卒業生を送ることにより校友会員数万に達する盛大さを来たし、母校の発展と相形影して校友会が今日の隆盛を見ることのよろこびをのべられ、飛躍的発展を来した母校学長に三たび選任されて内容充実に専心を要する重責を負う現在、校友会長辞任を認められたいとの辞意表明があった。ついで白川理事長から挨拶があって議事に入り、長柄副会長から別項の通り昭和三十年度の事業並に会計報告をなし全会一致承認ののち、第二議題である常議員三十名を五十名に増員することと、新たに監事三名をおくことと、これに伴う会則の改正案を中務総務委員長から説明した。これに対して平沢、深尾、中山氏らから賛見、希望等がのべられてのち賛否を諮ったところ、全員賛成で原案通の決定、会則改正による常議員並に監事の選出は校友会常議員会の総務、財務、事業、組織、広報の五部長を詮衡委員に指名し、各任期は現役員の残任期間とすることにきまった。

大月会長

第一学舎講堂の会場では午後二時からの開会に先立ち学部応援団ブラスバンドによる学歌、学生歌などの演奏によって大会気分が講堂にみなぎる。定刻一時すぎ宮崎常議員の司会で大月副会長から大学の評議員選挙や、岩崎会長の外遊などによって総会開催が遅れた理由の説明があり、岩崎会長が十ケ年にわたり学長職の傍ら会長の偉容を参観した。午後二時からの総会では卅一年度の事業並に会計の報告承認、常議員の増員と監事新設などの会則の改正、これに伴う選任方法等を決定、会長辞任により新会長に大月伸氏を満場一致で推薦して議事を了し、読売新聞欧ソ特派員戸川猪佐武氏並に岩崎学長の講演があった。

校友活動をより積極的に

会長には大月伸氏〔満場一致〕

常議員を20名増し、監事制を新設する

〔校友会活動の基本方針〕—会則が定める本会の目的は「母校関西大学の隆盛を図り会員相互の交誼を厚くする」のであるが、会則の定める母校の範囲は「理事会を中心とする教育者、学生を母体とする学友会」の内容を指すもので、この母校に対する血縁関係の校友が相互に交誼を厚うし血縁団体の校友会が自主性を以って本来的目的活動をする。

昭和三十年度の事業—一、広報活動を盛んにし大いにPRの実を挙げるために月刊の機関新聞「関大」を創刊して広く校友、学内、学外関係者に配布。二、母校七十周年記念式典及び記念行事に積極的協力。三、母校七十周年記念行事の一環として校友記念総会及び祝賀会を開催。四、学友会の文化部及び体育部活動にOBとしての活動協力。五、海外派遣教授のための援護協力。六、学生の就職斡旋に協力。七、卒業式に祝意を表し且つ新入会歓迎行事の実施。八、校友手帳の制定配布。九、七十周年記念総会後左の通り校友会機構を拡大整備した。イ、本会審議機関である代議員会の拡大運営。ロ、本会執行機関である常議員会の会務分掌規程を制定し、総務部、財務部、広報部、事業部、組織部の五部制とし三十名の常議員が各部に分属し正副部長の統括による会務分掌制を確立した。十、支部活動、職域会、同期会活動の助成及び会員の慶弔行事等

昭和三十年度の会務運営の諸集会—一、昭和三十一年十一月三日千里山第一学舎で母校七十周年記念総会及び祝賀会を兼ねて会のもの六十四集会開催。

校友会活動の基本方針—会則が定める本会の目的は「母校関西大学の隆盛を図り会員相互の交誼を厚くする」のであるが、会則の定める母校の範囲は「理事会を中心とする教育者、学生を母体とする学友会」の内容を指すもので、この母校に対する血縁関係の校友が相互に交誼を厚うし血縁団体の校友会が自主性を以って本来的目的活動をする。

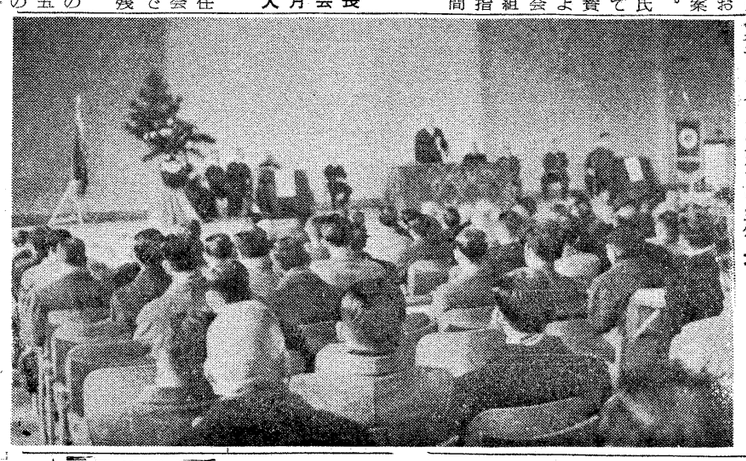
重責を兼ねられた功労に対し、石川から去る七月から九月まで三ケ月間三十年ぶりで欧米諸国の学事視察された外遊中の印象と国情民俗について興味深い話を聞き、夕闇せまる五時初冬の千里の山辺に図書館屋上からゆるやかに流れる鐘の音を合図に意義深い三十一年度の校友総会を閉じた。

30年度事業報告

昭和30年4月～31年3月

当事業年度は恰も母校七十周年の制定、④本部、支部、職域会、地域会、同期会等の組織拡充の基礎を確立したので当年度は期首早々に決定した方針で左の事業を行った。

記念式典及び記念行事執行の年に際会したので校友会としては、前年度迄に内面整備として、①名簿の復刊、②バッヂの制定、③会旗



論壇

岩崎校友会長の辞任

岩崎学長は昨年十一月三日の校友総会で、校友会の会長に選任され学長兼任の会長に就任された。従来は会則上当然に学長が会長を兼任して来たのであるが、この場合は改正された会則によって初めて総会の選任した会長に就任されたのであるから、外形的には学長兼任会長であっても、その本質に於いては全然異るものがあった。従って岩崎氏自身も常に選任会長と云うことを口にされ、且つその自覚と責任のもとによく校友会のために会長として尽されて来たことは、全く過去の学長職当然の兼任会長とは隔世の感があり衆望を負って来たのであった。然るに去る十一月に行われた学長選挙によって、同氏は三度目の学長に選任されて就任すると共に、校友会長辞任の申出があって、十二月八日に開かれた総会で後任会長大月伸氏が選ばれ同氏にバトンを譲ったのであった。

岩崎氏が学長に三選されたのと云って今更会長を辞める必要はない。それは少くとも外形的には従来と同様であるからだ。それにも拘らず強いて会長を辞めることを決意せねばならなかったのは、学内事情が変ったからである。母校は過去四ケ年と現に継続中の工事を加えて実に六億の巨費を投じて大学施設の拡充完成を続けているが、大学の本命である教授陣の充実は遅れて将又社会評価からの質においてである。学生には学舎及び図書館の増設によって基準収容力はできた。そして学士課程の大学、修士課程、博士課程の大学院の物的施設も整備し、所定の学生は収容されている。又教授については給与制度の改善、年金恩給制度の確立、研究室、研究図書等、待遇面及び物的施設は殆んど確立され、その上に年々の大学予算には充分の新規招へい教授に対する財的受入措置が講じられているのに、何故か教授陣が充実しない。今日までの数年は或は過渡的期間であったかも知れない。然しながら最早やこれ以上は左様の緩慢なことを云って居られない実情となった。けだし以上諸般の学内事情から了解できるのみならず更に九月改選評議員によって選ばれた新理事会は、学内教育制度の刷新と教育職員の充実による、大学の本命確立に緊急最大の重点施政方針を掲げて寧日なき努力が続けられている一方学生並びに校友団も本紙前号本欄にのべた如く大学本命の早急充実を要望する声は切実である。

斯る環境において学長の任期が到来し改選の結果岩崎氏が学長に重任したのであるから、学長の責任と仕事は容易ならぬものがある。端的に云って、教学行政の元締責任者たる学長は理事会及び校友団、学生諸君が要望する教授陣の充実と云う一事を実現するのみでも今後の三年、五年を没頭して尚ほ足らないであろう。その上に経常的一般教学の任務が負荷されているのだから、たとえ校友総会によって選任された会長職であっても、その人が果さなければならない任務には自ら前後軽重の別がある。固より岩崎氏には学長職が優先するであろう。然るに自主的強独立専任の初代会長として大月氏は就任されたのである。その一事は関大七十年の校友会史に特筆大書すべき事柄である。

大月新会長の会長たる意義と責務は、校友会の自主活動の基礎はできたこの一事で明白であろう。校友会が母校の軒下宿借りから脱却して、六万校友の育機的大旋回の中心となって躍動し、併せて母校経営面を担当する理事会、評議員会、教学面を担当する学長、教授会、及び現役学生活動の組織する学友会とは不可分の有機的外郭団体としての存在意義を発揚する校友会は、大月新会長に大いなる期待がかけられている。

新会長に大月伸氏

最近数年間の足踏み地なしによって、校友会の自主活動の基礎はできた。その一事は関大七十年の校友会史に特筆大書すべき事柄である。その一事は関大七十年の校友会史に特筆大書すべき事柄である。

決戦投票のすえ

学長に岩崎教授三たび就任

学長の任期は十一月十八日で満了となるので、次期学長を選出する選挙管理委員会は、今回は専任講師、助手も参加して十一月十一日千里山学舎で開かれ、岩崎前学長が再選され、十五日の理事会で承認手続をとって、十九日附で発令された。

学長選挙は去る十一月十一日千里山学舎大学ホールで開かれた。従来は教授、助教授による連合教授会で選出したのであったが、今回は専任講師並に助手も参加したので当日出席の九十九名によって選挙が行われた。

第一回投票では岩崎、木村、矢口、井上（以下略）教授とも過半数の四十九票に達するものなく、高点者の岩崎、木村教授が決戦投票の結果、木村教授が六十三票で当選したが、同教授は健康上身上の理由で固辞された。それで木村教授を候補者から除外して、改めて投票したが、過半数に達するものなく、高点者の岩崎教授と井上、矢口教授（次点者が同点）の決戦投票となり、岩崎教授が過半数の四十九票を得たので岩崎教授と決定した。依って十五日に開かれた理事会では教授会の報告に基づいて岩崎教授の学長就任を認め十一月十九日付で発令された。

同教授は昭和二十二年五月第十七代学長に就任し同二十五年七月までの一期をつとめ、昭和二十八年十一月岡野学長辞任後、再度学長となり、今期また再選されたので、三期学長に就任されたことになる。大学の役員も大半更迭し内容充実を標榜する重大な時機に学長の重責を負われた岩崎博士に対し、学の内外から期待するところ大きいものがある。

岩崎氏は明治廿四年佐賀県生法博、大正四年専門部法科卒、同九年コロンビア大学卒、同十年本学教授となり今日に至る。

写真は31年度校友総会

昭和30年度収支決算報告書（30年4月1日～31年3月31日）

収入の部		支出の部	
入会金 459名	137,600	会費	83,054
会費 1163名	261,450	議送料	30,393
会員章代 122名	24,400	報刷費	8,400
学報代	2,100	印信費	18,927
雑収入	4,200	通品費	2,830
新聞会計繰入	1,088,145	備費	8,320
預金利子	4,958	雑費	1,443,367
代議員会費 151名	30,200	新聞発行費	1,144,580
総会費 1076名	753,200	総会費	
大学補助金	389,550		
計	2,695,783	計	2,739,871
前年度繰越金	450,653	剰余金	406,585
合計	3,146,456	合計	3,146,456

新聞特別会計收支決算報告書

収入の部		支出の部	
購読料	600,035	送料	540,045
広告料	467,600	郵費	66,264
銀行利子	510	原稿料	153,390
寄附金	20,000	人件費	36,615
小計	1,088,145	編集費	24,162
会計借	355,222	消耗品費	30,000
合計	1,443,367	補償金	10,567
支出の部		備費	20,306
印刷費	557,689	交通費	4,329
		雑費	
		合計	1,443,367

本年度剰余金明細書

大和銀行預金	355,974
振替貯金	50,611
合計	406,585

外に新聞会計未収広告料 295,000

教職免許状取得を志す人へ

〝旧法による手続期限は昭和三十四年三月末迄〟

教育職員免許法の改正は昭和二十九年六月三日文部省公示によって公布され、六ケ月後の同年十二月三日から改正法が発効し、昭和三十年四月の入学者から適用される。それ以前昭和二十九年までの入学者は旧法の有資格者であるが旧法は昭和三十四年三月三十一日限りで以後は改正法に依ることになる。

改正法によると中学校一級、高等学校二級の免許状に必要な単位数は次の通りで、旧法に比較して著しく加重されているから、今後教育職員の資格を取得することは従来より難かしいわけである。カッコ内は旧法単位数

社会四〇（三〇）　国語三二（二八）
英語三二（二八）　商業四〇（三〇）

なお高等学校免許状については文部省では試験制度を考慮しているとのことであり、卒業生で在学中に教職免許状取得に必要な単位をとっている有資格者で、まだ手続をしていないものは、旧法の有効期限昭和三十四年三月末までに免許状授与願を提出する必要がある。

大学の教務課教職課ではなるべく早く手続されることを望んでいる。問合せは卒業各学部の教務課教職係あてに申出でられたい。

戸川氏講演要旨

重光全権が日ソ交渉で失敗したのは領土問題で南千島は日本固有の領土だと強硬に打ち出したことで、最初から拳を振りあげてかかったところにあった。こちらが拳をあげれば先方もあげるのは当然で、最後に妥結の決心を堅めて重光氏自身の立場保持と政治生活の展開を期待したが、これまた本国政府の同意が得られなかって失敗に帰したのは新聞紙上でお存じの通り。交渉方針を誤ったとは氏と云えよう。宴会の席上フルシチョフ第一書記に〝オレの云うことを聞くか〟と聞く。〝よし〟と云うことで、外交慣例によればそうした席上では決して交渉をやらないものであるのに、端的に、率直にぶちあたった。肝胆相照らしたわけであろうと、その領末裏話を悉しく説明せられた。それより一度の訪ソ滞在中、目で見、足で調べてのソ連観—ソ連の集中化政策の結果、消費財生産を極力圧えた市民生活の貧困と不満、西欧文化へのあこがれを例を挙げて解説された。今や国交の恢復も未だ遠く行われて日ソ間に頻繁な関係、複雑な問題も生じるに至ることと思われるが、従来、共産主義者のソ連観と反共主義者のソ連観とが対立しているのが共に感情的であって当を得ていないと断じ、結論として鉄のカーテンはもう締められない。ソ連は西欧化されるであろう。市民生活に不満があっても共産政権は変らぬ、反革命はおこらぬであろう。政策の集中化によってやろうと思えば如何なることでもやり切れるであろうからその政策を見通す必要があり、共産主義至上は間違いであるが、社会保障制度などその長所は大いに学ぶ必要があることを説き、聴衆に多大の感銘を与えた。

魚澄、矢口両教授当選

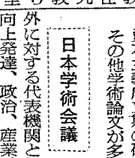
日本学術会議会員に

日本学術会議の第四期会員が十二月十一日に決り、関西大学からは第一部（哲、文、史学）に魚澄惣五郎教授、第三部（経済、商、経営）で矢口孝次郎教授が当選した。選挙方法は郵送による投票に依ったが、十日一杯で締切り、十一日朝九時半から同会議中央選挙管理委員会で開票され第一部から第三部（文科関係）まで合計九〇名の新会員が当選を確定した。今回は二十五名の新人が登場し、本命とみられた潮田前慶応塾長、出隆羽仁五郎氏などが落選する番狂わせがあった。新会員は来年一月二十日第四期会員による総会を開き会長、副会長、各部会長を選任する。さらに十二日は科学、医学関係の四部から七部までの新会員一〇二名がつづいて選ばれ、ここに一九二名の新会員が勢揃いした。本学に関係ある文科関係の会員の所属校をみると二十七校に別れ、

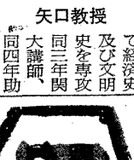
第一部
第三部

〔官公立〕京大7、一橋7、東北大7、東大6、広島大6、九大5、神大4、東京教大3、北大3、大市大3、名大2、愛知大2、東京芸大、熊本大、福島大、横浜国立大、東北大、静大、各1

〔私立〕早大6、中大4、立命3、関大2、慶応2、日大2、同大、専修大、竜谷大、各1


魚澄教授

魚澄教授略歴　明治廿二年兵庫県生、文博、大正三年東大史学科卒業、同十三年大阪府立女専教授となり昭和廿二年広島文理大教授に転任昭和廿九年関大教授となり現在に至る。日本中世史、文化史研究の権威で古社寺の研究（昭6）室町幕府政治（昭9）吉野朝時代史（昭11）綜合日本史大系南北朝（昭15）大阪文化史研究（昭18）日本中世史研究（昭19）その他著者並に学術論文が多い。


矢口教授

矢口教授略歴　明治卅六年長野県生、経博、昭和二年東京商科大学卒業して同大学研究科で経済史及び文明史を専攻同三年関大講師、同四年助教授、同十年関大教授、経済学部長、短大部長を歴任して現在大学院部長、関大理事を兼任される。イギリス封建制度の研究で昭和廿七年経博の学位を得た。著者・英国社会経済史（昭12）イギリス政治経済史（昭17）イギリス帝国主義史論（昭18）イギリス封建社会経済史（昭24）資本主義成立期の研究（昭27）その他学術論文が多い。

日本学術会議　わが国の学者の内外に対する代表機関として科学の向上発達、政治、産業、国民生活に科学を反映普及させることを目的として昭和二十三年に設立されたもので、内閣に直属しているが政府の諮問に答えたり、逆に勧告する権利義務をもっているいわば学者の国会。人文科学部門で二部自然科学部門で四部に分れ各定員三十名、計一百十人が三年ごとに選挙されて会員となる。最近では国際地球観測年に南極観測隊派遣を決定したり、科学技術庁をめぐる論議、自民党の〝憂うべき教科書〟問題、教育二法に関する論議などで話題となっている。会員の選挙権および被選挙権は学術会議選挙管理会が学者、研究者の論文あるいは業績報告で〝科学者にふさわしい〟と認めた者に与えられる。（読売新聞から転載）

学術会員勢力分布

（一部・三部）

校友の手で学園を『緑』に

植樹運動申込みぞくぞく

関西大学ではここ数年の間に六億余の巨費を投じて学舎の建築や学園の施設整備につとめてその輪奐の美は昔日の俤を全く一新したが、これに伴って本立と花のある学園、しきつめられた芝生に点在する真理探求の殿堂、学問の府に相応しい環境をつくる様に造園計画を樹てたのは、若き学徒に恩寵と憩いの場を与え、学窓を出でては思い出の一木一草に母校愚慕の情をいだくようにもと大学当局はいたく感激している。

なお植樹には寄附者の名を録して芳志を永く伝えることになっているが、樹木の種類並に単価は次の通りである。

▽楠（高さ十尺、巾七尺、太さ目通一尺）一〇、〇〇〇円
▽銀杏（高さ七尺、巾三尺、太さ四寸）三、〇〇〇円
▽南京ハゼ樹（高さ八尺、巾五尺、太さ六寸）六、〇〇〇円
▽山桜（高さ七尺、巾三尺、太さ二寸）五〇〇円
▽ユーカリ（高さ八尺、巾三尺）一、五〇〇円
▽メタセコイア（高さ四尺～五尺）一、五〇〇円
▽二商同窓会（五千円）山桜四本、ユーカリ二本
▽芦屋支部（五千円）山桜十本
▽十二会（五千円）山桜四本、ユーカリ二本
▽昭4専文斯文会（五千円）山桜廿本
▽神戸市役所関大会（二千五百円）山桜五本
▽郵政局関大会（千五百円）山桜三本
▽西成支部（六千円）山桜六本
銀杏二本
▽昭三会（六千五百円）山桜十三本
▽昭14春秋会（七千五百円）ユーカリ三本、メタセコイヤ二本
▽昭六会（七千五百円）ユーカリ三本、メタセコイヤ二本
▽四三会（一万円）山桜廿本
▽大阪支部（二万円）楠一本
▽大阪府庁支部（一万円）楠一本
▽備後支部（二万円）山桜廿本
▽友粋会（五百円）山桜一本
▽伊丹支部（一万円）山桜廿本
▽昭八会（二万五百万）楠一本
メタセコイヤ五本、ユーカリ二本

植樹申込者芳名

東京連絡本部開設

本部長に板橋教授

十一月十五日の理事会で、学校法人関西大学東京連絡本部を開設することになり、本部を東京都中央区日本橋本町三丁目におき、本部長に板橋菊松教授を委嘱することになった。

冬休み日程

年末の授業終了は大学院、学部は十一月廿日、授業開始は一月十一日から、一高及び一中は十二月廿四日授業終了、一月八日第三学期授業開始となっている。なお事務関係は十二月二十八日で終了し、一月六日まで休業、一月七日から一般事務開始となっている。

葦の雫

師走である▼町、街で幼い子供たちは「もういくつ寝るとお正月」と楽しそうに歌っている。そのうちに今年も暮れて行くのであるが……押し詰った所で自民党の総裁が公選せられ、次いで新内閣の誕生が見られるようであるが、岸、石橋、石井と失礼ながら三人揃ってドングリの何とかであれば、国民の方はどなたでも結構であるし、産れて来る子供（内閣）の性別は勿論、その能力まではっきり判っていては、赤飯をたいて祝福する気持も湧いて来ないであろう。しかも頼りない父親の決定からが非常な難産とあっては……▼それは兎に角、本年の母校関西大学は言うなれば珍らしい選挙の年であった。評議員選挙に続いて行われた役員、学長、校友会長の選挙などがその主なものであるが、夫々に異なる任期の主脳者が、これ程揃って選挙に持ち込まれる廻り合わせはそう度々はないであろう▼理事長、学長、専務理事及び常務監事の一応の重任も、前績が高く評価せられた結果であると考えて、先ずお目出度い事であるが、ここで辞任せられた前役員の諸氏にも謝意と敬意を表したいと思う▼木村教授は評議員への推薦も、学長の当選も共に固辞せられたと聞くし、宇佐美理事は病気のためで止むを得ない二人である▼森川、西本両理事は揃って学位を持った硬学であると共に、丑年生れの同年で筆者も丑の同年ながら、これはどうも子年の星らしいが—官公に縁のある星ではなかろうか？春原理事と西尾監事の御両人は、役員中で若さを誇り従って活動家と云う面で清新さを加えて居た方である▼二人冠の似通った退陣を惜しんで、さて最後に今一人宮島先生であるが、約四十年前に専務理事に、次いで教授に理事長にと、永きに亘っての功績は、母校七十年史の記述する通りで、先生の眼疾進行の為めとは聞くが、識見高く孤高の感のあった先生だけに、正に「暁天の一星」の思いで、心淋しい限りである▼以上各氏の今秋迄の御在職と功労を讃えると共に、白川理事

大臣賞に輝く最高位の技術
株式会社 片野洋服店
大阪市東区北濱三丁目三
電話北濱㉓
代表〇五五〇〇五六六〇〇五六六五五六七番番
大阪有名大店加盟

平和園
大阪ナンバ 戎橋筋南
中華料理
TEL.式(64) 1553・1554

御贈答には…
大丸の商品券
大阪・東京・京都・神戸・高知・鳥取・下関・別子・博多の大丸に共通です
300円—1万円の七種類
1階商品券売場　大丸 大阪心斎橋

ノンストップ38分
梅田・京都間特急
阪急電車

発車駅	始発	終発
梅田	9時30分(7時30分)	16時30分(21時00分)
京都	8時48分(7時18分)	16時18分(21時05分)

●30分毎発車　●（　）内は日曜・祝日ダイヤ
阪急京都線急行車増発…
梅田—京都急行はラッシュ時に10分毎閑散時は15分毎に運転しています

NISSAN DATSUN
カタログ御入用の方は電話で御申込み下さい
ニッサン ダットサン オースチン
超長期月賦
ダットサン 1ケ月4万円の20ケ月
オースチン 1ケ月8万円の15ケ月
大阪日産　大阪市福島区下福島1—4　TEL 代表（44）7951・6971

ドイツ国より贈られたディーゼル金賞牌
丸ゆる原動力に！
ヤンマーディーゼル
性能、経済性、耐久力と三拍子揃ったヤンマーディーゼル
農工用 2～8馬力
一般動力用 2～600馬力
船舶主機用 4～250馬力
ヤンマーディーゼル株式会社
本社 大阪市北区茶屋町六二 TEL(371)2451～5
支店 東京・福岡・札幌
出張所 金沢・岡山・旭川

大阪・神戸間
特急 ノンストップ25分
・梅田発 平日 9.15～16.55 20分おき
休日 8.00～18.30 〃
・元町発 平日 9.09～16.30 〃
休日 7.34～18.34 〃
阪神電車

あげて内容充実に
期待される四者の手腕

大学経営担当の理事者、また評議員会、教学面の教授陣、大学の外廓である校友会、この四者は大学運営に重要な四本柱ということができよう。このそれぞれの代表者が改った今日"課せられたこの期こそは"と清新発剌な意気と意欲にもえている。広報部ではこれ四者の代表者を十二月四日午後五時から天六学舎理事会議室に集ってもらって、共通の目標"大学前進のために"の座談会を開催した。

広報部主催 四者座談会
大学の発展と市民のために

司会 広報部主催の座談会を開催しましたところご出席下さいましてありがとうございます。昨年七十周年の記念式典を挙げました関西大学は、本年は誠に珍らしい年なんです。四年任期の評議員選挙があって、理事者役員が新任され、三年任期の学長選挙があって岩崎先生が三たび学長になり、又二年任期の校友会長が任期の途中でありますが辞任届が出ていますので、来る八日の総会で改選となると思う。今後の四年間は過去の四年間が積極的に経営して来た仕事の結末をつけて改善を図って進んでいきたいと思っています。幸い私も健康でありますし、評議員に立派な人が出て下さっておりますので、皆さんの御協力をお願いする次第であります。

【写真は座談会】

教授一〇〇名を増員

司会 久井専務さんはいろいろと抱負経綸があろうと思います。理事者の立場から……。

久井 昭和二十七年、前理事会発足以来白川理事長の功績は誠に大きい。長老格が理事長でないといろいろの施策を実施する場合、若い者ではゆき過ぎがあったり判断を誤ることがあったりして世上の信用を得ることがむつかしい。学校内外の衆望を結集して施策を強力に遂行するには長老格が絶対に必要であった。過去の四年間には特に理事長が口出しをされることはなかった。今後の四年間も口出し願わなければならないことの事態が起らないことが望ましいのであります。

前理事会の考え方は大学は真理を探究する道場である。その真理の探究並にそのプロセスを通じて学生を教育する道場である端的に真理を象徴するのが教授であり、教授の自由自治は何ら制肘を受けるものでなくその研究成果は大学の真価である。これは前理事会の信念であり、又今後四年間理事会の信念であって、大学の在り方、進み方、考え方の根本は変るものではない。前理事会では教授陣容の拡充強化、留学制度の実施、研究図書費の増額、学界との交流によって研究の雰囲気を醸成し、本学での学会開催の斡旋、特別研究生の制度、研究費の補給、年金制度の実施などすべては内容充実の一環の考え方で進めて来たのであります。

白川 私は過去四年間理事長をつとめて来ましたが、顧みてよくつとめてこれたものと思います年をとっているのはよいとしても、何ら識見をもたず、全く人任せで無責任と云われればその通りです。しかし私には過去の歴史がある。前月郷里讃岐の琴平参宮電鉄の総会に出席しましたが、総会は九十一回とのことで四十六年になる。私は創立者の一人で監査役十四年、社長十六年、その後は相談役として今日に至っています。それなら実業人としての見識があるかと云えば全くそうではなく、ふしぎに助ける人がある。専務に識見のある人があって、任せておけばよかった。会社は年々に発展して内容もよくなり、香川県の交通事業に貢献していることを認められている。その手で味をしめて関大の理事長も引受けたのかと云われれば全くその通りで、久井専務がよくやってくれるので任せておけばよかったし、理事、監事、評議員の皆さんが善意の協力をして下さって今日の発展を来したに感謝の至りであります。

長期計画を立てる
ブレーンが必要

司会 学長代理として矢口教授からご意見を……。

矢口 本日出席の他の方はそれぞれ代表の立場の方々ですが、私の立場は代表という訳でなく学長補佐のつもりで出席したのですが、生憎学長がお見えでありません。それで代理ということでなく個人の立場での発言とさせていただきたい。

大学の使命、真価は教授の研究活動及びその研究活動を通じて行われる学生の教育で、それが大学の社会に負う義務でもあり大学が評価されるところでもある。しかし焦点はそこにあるとしても、大学の活動は多面的であって学生の対外的活動、卒業生の社会活動、父兄の立場などと多面的な活動が綜合されているものであることを見逃してはならない。関西大学の進むべき道はこれら多面的な活動が有機的な関係にあることを考慮して長期的な構想を検討して立案しなければならない。その意味で学校行政を遠くまで見通すプレーンを早くつくらなければならない。先程も専務は教授の研究活動はまだこれからだというところです。

校友会はこれから会館の建設や大学の事業計画に対する協力、学生の就職斡旋、学生活動の援助等々やるべきことは多いし、五万校友を擁することであるので、その総力を結集の暁は大学のためにも大きな力であると将来を期待しているのです。

司会 四本柱の方々から御意見を伺ったのですが、今後の四年間は内容充実、教授陣容の強化、教学の刷新との話も出ましたし阿部さんの評議員睡眠論も出ましたが、運営委員会あたりで基本的な方向がどうきまったか、学事委員会など設けられるか、その性格はどうかと云う様なことを副議長の大島さんに伺いたいのですが。

學事委員会は設ける？

司会 いろいろな話題が出て居りますが、これからは何か掘り下げて自由にお話ねがうことにしたいと思います。

門上 では早速さきほども出た教学刷新の問題―学事委の問題は理事者も苦心されており、教授側も神経質になっている。評議員会では阿部さん以下運営委員の皆さんが誠心誠意真剣にとっくもうと云う態度をお持ちの様ですから、まだはっきりきまっていないなどとそう固くならずに阿部さん個人の意見でも結構ですから率直にのべて下さい。

阿部 評議員会の活動は委員会活動が大切なんだと思います。従来の評議員会は年三回、予算、決算、中間報告の三回であり、理事会委嘱の特別委員会も理事会の諮問に答えると云う程度では評議員会の任務を果していることは云えない。それで今後の評議員会では専門委員を委嘱してその委員会で理事案をよく検討審議して評議員会に報告する。その委員会は自分達が選んだエキスパートで構成されるのだからその報告を全面的に受入れると云う風にやっていくべきだと思います。

そこで学事委員会は従来もあった。教授会の方からも忌憚のない"いや実はわれわれの内幕はこうじゃ"と云う話を聞け、これこれのことをやってもらわねば学校をよくするには困る"と云う様なことを、理事者とであったらテッパリ合う様なことを、若干緩衝地帯でもあり、校友から出ている立場もあるので理事者との間にも立ち、また教授が研究するのに好ましい雰囲気はこうだ。それにはこうした方法があるが評議員の君等が協力するのはこういう方法があると云う様に、談笑のうちに語り合う雰囲気が生れなければならない。そういう意味で学事委員会を設けることが必要だと思っております。

久井 この問題は近く運営委員会の方と学長と四学部長に私も立ち合って懇談的に話し合おうじゃないですか。

矢口 理事者を含めて、教育研究の問題を考慮するという意味では、学事委員会をそう深く考える必要はない。しかし学事委員会を専門委員会として大学の教育プランとか、授業とかをとりあげられてはかなわ。

阿部 イヤそういう意味ではない。

長柄 教授の海外留学は長老教授が半年、中堅教授が一年となっていますが、今後は三年位の新進を三年位留学してもらってはどうだろう。

矢口 教授会にもいろいろ意見はある。戦前の官立では助教授が二年半乃至三年留学した。最初の一年は専ら語学力をつけ、後の一年半乃至二年を専門の研究に当てたものだ。しかし文部省の方と学長と四学部長に私も立ち合って懇談的に話し合おうじゃないですか。

〝評議員睡眠論〟

司会 久井専務の五年～十年計画矢口教授の長期計画共に大学をよくすることに目標をおいて努力するとのお考えは帰一しますが、理事者と表裏一体をなす評議員会の今後の運営について阿部議長さんから……。

阿部 私は評議員会睡眠論と云う考えをもっている。これは永田青嵐居士の言葉で、理事者が立派な仕事をして予算決算がうまく行っている。学校は教育が目的なのだから立派な教育が行われ、学生も卒業生も立派で内容充実しておると云うことであれば評議員会は眠っていてよいのだ。しかし睡眠は死にではないので、目を覚すべき時には目を覚すとこうことなんだ。

評議員会が活動すると云うと敏感に理事会に対抗するとか、教授会に圧力をと云う様に考えられるのは、考え方がおかしいとも云えない。それで今後の評議員会では専門委員を委嘱してその委員会で理事案をよく検討審議して評議員会に報告する。その委員会は自分達が選んだエキスパートで構成されるのだからその報告を全面的に受入れると云う風にやっていくべきだと思います。

そこで学事委員会は従来もあった。教授会の方からも忌憚のない"いや実はわれわれの内幕はこうじゃ"と云う話を聞け、"これこれのことをやってもらわねば学校をよくするには困る"と云う様なことを、理事者とであったらテッパリ合う様なことを、若干緩衝地帯でもあり、校友から出ている立場もあるので理事者との間にも立ち、また教授が研究するのに好ましい雰囲気はこうだ。それにはこうした方法があるが評議員の君等が協力するのはこういう方法があると云う様に、談笑のうちに語り合う雰囲気が生れなければならない。そういう意味で学事委員会を設けることが必要だと思っております。

久井 この問題は近く運営委員会の方と学長と四学部長に私も立ち合って懇談的に話し合おうじゃないですか。

矢口 理事者を含めて、教育研究の問題を考慮するという意味では、学事委員会をそう深く考える必要はない。しかし学事委員会を専門委員会として大学の教育プランとか、授業とかをとりあげられてはかなわ。

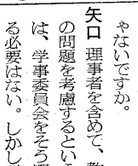
阿部 イヤそういう意味ではない。

長柄 教授の海外留学は長老教授が半年、中堅教授が一年となっていますが、今後は三年位の新進を三年位留学して

結集したい六万校友

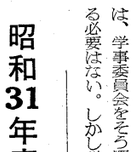
司会 阿部さんから永田青嵐居士の言葉を引いて面白い考えを伺ったが、次は校友会副会長さんに、近来活発な活動をする様になった校友会のお考えをお願いしましょうか。

大月 校友会は戦前はかなり活動したもので工専の設置など理事者を鞭撻して実現したのでしたが、終戦後の混乱期には全く終息状態になった。それを第一期の岩崎学長が会長の時、大学に校友課をおいていろいろお世話下さってやゆまとり、その後大学組織が学校法人に改組されて、評議員の大半を校友から選出する様になって校友の大学に対する関心が高まって来た。前理事会がその施策のよろしきを得て大学が年々発展し、校友活動を促進助成されたので漸次自主的活動をとる様になった。創立七十周年を期に大学も飛躍的に発展するし、校友会も機関紙"関大"を発刊してPR活動を活発化して来た。また本年に入って執行機関の常議員会を総務財務、事業、組織、広報の五部門にわけ、活動をする態勢ができて来たところで、自主的活動はまだこれからだというところです。



大島 運営委員会はまだ三回集ったところで、学事委員会なども目下検討中ではっきり方向がきまっていない。ともかく円満にやりとげたい。

阿部議長は機智に富んだ人で、その場に適した才能をもってよく会をまとめられる。私は職業が半ばエンジニア的な仕事で、性格もそうですが、たゞ大学を思うの一念で、いかに大学はあるべきかを考えている。大学も外形は整った。専務も今後教授陣も百名増員したいとのことだ。



校友会事業基金
寄託者芳名（2）

校友会事業の運営を積極的に推進するために校友各位から篤志寄附を寄せられ誠に感謝に堪えません。茲に芳名を録し謝意を表します。

金一万一千円　今井　康兼
金六千円　逢坂　勝見
金六千円　青山兼祐、猪師猛、上西栄万、太田祝次郎、神吉等、神崎伝次郎、木山晴夫、岸田駒太郎、呉辰成、国分吉広、佐伯博臣、斎藤幸昌、篠原昭三、角田文雄、鈴木武夫、図師親徳、鶴沢貢彦、名田京一、内藤正剛、中村敏雄、中村徳蔵、中村源次郎、中本勇浪江源治、仁尾常寿、平井三朗、平沢農一、真鍋竹治郎、村山弘森川太郎、森下善雄、山脇智横田長次郎、吉田甫男、渡辺忠男（小計九万壱千円、累計九拾万七千円也）
金四千円　宮武喜三郎
金三千円　岸本　芳夫
金三千円　泉　正雄
金三千円　田中　寿蔵
金三千円　谷口　隆佳
金三千円　中井　弥六
金三千円　新田　厳
金三千円　深川　実
金三千円　鵜飼金次郎
金三千円　小川　房雄
金三千円　大井　亨
金三千円　中村　公男
金三千円　西本　寛一
金三千円　南　清
金三千円　尾窓、土居三郎、名手功、中尾勝一、中島万蔵、中原英夫、中原聰雄、中松範雄、長野重照、永岡敏之、西尾善孝、西田昭、西野保夫、野田博、原田宣一、平井常敬、平尾省三、平川政雄、平沢農一、二見豊一、福井三郎、藤井義男、藤井慶三、藤井常夫、藤井道夫、藤井昌博、藤本光美、船引竜三郎、淵常美、淵崎邦郎、古川浩、本宮久吉、真居卯吉、真木益太郎、間宮与四郎、牧野雅男、牧山儀平、牧淵芳郎、松井繁夫、松下良一、松田良夫、松原大司、松本亮一、三島信太郎、三宅和夫、三橋基一、三場徳一、水上正明、水谷義美、南一男、南弘雄、南野利夫、宮浦修、宮田光雄、村上宗徳、村上光弘、森正治、森沢謙一、森沢国弘、森本正一、矢野義一、矢島常夫、安田正治、安田良一、山内喜一郎、山下雄三、山川登、山崎富雄、山崎輝男、山西四三、山村博治、山本隆三、大和英雄、吉川宏、吉川博之、吉田三郎、吉田洋三、吉村道雄、吉本節、領内正太郎、北野耕一（小計一六七名、累計二二五九名）

昭和31年度 会費拂込者【7】

青山兼祐、浅井孝、天野幸信、荒井良男、井内祐一、井上勝美、石井健一、市川正夫、乾昌明、今木清、今村佐吉、稲垣一男、稲垣馨、稲原実、岩田正男、鵜飼政克、植田泰弘、内田政一、内山学、江見久、小原是馨、大田豊治、大洲繁治、大野寛、老田昭、荻阪操、奥宏、岡本佐都司、加藤謙次、加守田亮、川上清三、川西元治、河田矩次、片桐重司、柏木実、柿木健一、葛野勇、鍬田秀一、鍬谷武雄、神田哲夫、勝島亀代蔵、金田昇、木谷父三郎、木下政雄、木沢才蔵、木村富士、木村雅俊、北川慶太郎、北川和夫、北国幸夫、岸源左右衛門、楠谷繁夫、楠本三郎、国下嶂、国利尋司、倉知勤也、弦義人、小泉聖小島竜夫、小林茂、小松原嘉一、小林幸夫、小林茂、幸田常雄、後藤昌博、坂井幸雄、坂本忠司、下村宗一、柴田裕延、白川修、杉本栄一、杉山武一、清川禎敏、千足耕造、祖父江義郎、田中兼夫田辺田治郎、多田音吉、高島一郎、高梨孝子、高垣美英、高橋富士雄、高山一与志、武田昭一郎、武田熊太郎、近藤良次、寺

料理 志ぐれ 大方
松竹座裏
電南㊺一一四七
浪花座裏
電南㊺七一九一
前田瀧造
（昭和七年卒）

天王火災
取締役社長 中山幸市

JIS許可番号五九〇号
★ターポリン紙
JIS許可番号六六三号
★雛付防水紙
堀富商工株式会社
社長 堀畑岸一
本社 堺市大浜北町一ノ三 電堺一四八～九
営業所 大阪市西区北堀江上一ノ三 電(63)三三九七～八
工場 堺市浜寺石津東三ノ一〇九 電堺一八七〇～一

〝異色校友〟のプロフィール
……（1）……

〝津の国屋小染〟
作者の井上友一郎氏

主人公は"父が大阪区の中津で土地家屋周旋業をしていたので商業学校に入った"と云われる。星移り、年変り今は限られた人々の脳裡にのみ生きる三昔前の福島の校舎で夢多き日を送ったであろう彼井上氏を、同じく福島の学舎に通った安井章吾氏が、「校友作家井上友一郎氏と語る」と題して紹介して下さった。

ここは東京都世田谷区の井上邸である。静かな住宅街の一角で、都会の騒音が全然とどかない。植込みの玄関先には"面会日、毎週金曜午後三時"と木札がかかっている。

記者は校友会東京支部長の中山幸市氏と共に訪問、来意をつげると早速応接間に案内される。

―ピアノ、仏像等を作家的整然さで配置された明るい部屋、廊下の書棚にはきっしりと文学書ぐいが前号まで〃関西大学を彩る人びと〃と題して各界各方面に活躍する校友の諸先輩を紹介しましたが、本号から〃異色校友のプロフィール〃と題して、登場願うことにした。

ろいろの文献が溢れて、いかにも作家の住居らしい雰囲気が漂っている。

夫人からお茶の接待を受けていると、可愛いい令息が時おり、顔をのぞかせては引込む。NHKから録音取りに社員が割込んでくる又雑誌社からも原稿督促につめかけて、呉越同舟のかたち。

待つこととしばし、ガラガラと門の戸が開いて外出先から井上氏が現れた。

黒襟のかかった丹前姿に羽織を引かけられた気さくな様子、ロイドめがねの奥から澄んだ眼が記者の質問を催促する。

「井上さんの二商のご卒業は昭和四年でしたか」

「そうです。私の家は大阪区中津の、今の北野済生会病院の附近で、土地家屋周旋業をしておりましたので、商業学校に通学しました。」

「二商時代の思出として、何かご記憶がありましょうか。」

「恩師の四辻先生、神保、松本両先生、それから友人には竹谷太郎、森下巌君等を憶えています。学校の食堂で十銭のゴモク飯、五銭のうどんは美味しかったですね……」と福島の校舎で、汽車の通過するときは一時講義をやめて待った昔を今はなつかしいとのことだ。

「東京へ出られてからのコースは……」

「早稲田の専門部法科から仏文を出た」とのことである。

（今の東京新聞）の文化部に四年間籍をおいて、コツコツと作家修業の基礎をつくられた。

「最初にヒットした作品は何でしたか」

「ありませんネ、私は地味にコツコツやる方で……これは当ったと云う作品もなしに」

「井上さんの作品で"銀座二十四帖"を拝見しました……。」

「そうでしたか。私の作品ではその外に"午前零時"、"銀座化粧"、"誰が私を裁くのか"、"人生選手"など、読まれたんじゃないでしょうか。」

「今、大阪新聞の連載小説で"津の国屋小染"を出しておられますね。学校の帰りに夕刊を求めて電車の中で読むのを楽しみにしています。その他に何か連載物を出しておられますか。」

「そうですね。過間東京に"淞南夫人"、文芸に"女給夕子の一生"を出しております」とのことで、流行作家としてなかなか活躍しておられる氏は、がっちりした体格で、エネルギッシュである。

「何かスポーツをおやりですか」

「趣味はボクシングに野球、ゴルフ、とりわけ野球は文士チームの野球団をつくって投手もやれば遊撃手もやります。」とのこと。

この時又可愛い令息が飛入りして井上氏の膝を揺すぶる。

「お子達は何人ですか。」

「中学生の娘、小学六年と二年の息子で三人です。なかなか賑かですよ。妻は新潟の人」と最後に附け加えられた。道理の北国美人タイプだと記者の想像の目に狂いはなかったわけ。ここで他の来訪客もあることとてご健斗を祈って辞去した。

×　×

明治四十二年生れ、日本文芸家協会理事、昭四関大二商科卒
昭和十一年早大卒
住所　東京都世田谷区代田二ノ八〇七電話松沢局（一〇九番）

★　★

ジュピターカーボン紙
帝国カーボン紙株式会社　取締役社長 北原元茂

金、銀、錫、鉛、亜鉛
アルミニューム、其他一般金属地金
各種地金精錬
保井金属株式會社
代表取締役 保井尚
代表取締役 保井剛一
本社 大阪市南区安堂寺橋通二丁目四四 電話本町㉖四二七一
工場 大阪市南区松屋町七八 電話南㊺三三四九
第一倉庫 大阪市南区空堀町二三 電話南㊺二三六六
第二倉庫 大阪市南区瓦町三番丁四三
東京連絡所 東京都千代田区神田鎌倉町二三 株式会社G・H・A商会 電話神田㉘二〇二二・五八七五

産業用機械並銅管
株式会社 栗本鉄工所
住吉工場
大阪市住吉区柴谷町四丁目
電話住吉(37)2122～2125

本邦唯一の書架専門メーカー
特許田島式銅板製書架
関西大学千里山図書館積層式3層書架責任施工、京部大学、九州大学、北海道大学、早稲田大学、一橋大学、明治大学、神奈川県立図書館、其の他各大学並に府立図書館に納入好評を受けて居ります
日本フイリング株式会社
大阪出張所 守谷義一
大阪市東区淡路町四丁目四八 TEL(23)7059・7019
本社 東京都丸ノ内、丸ビルNo.443 TEL(20)4184～6、2017

富士火災海上保険
火災・海上・運送・自動車
航空其他新種保険一般
本社 大阪市南区末吉橋通二丁目三
電話㉖五三四―九 六一七四―九

末永博士"なにわ賞"受賞記念講演

府下の古墳をスライドで解説

魚澄・石濱受賞両教授も熱演を

大阪府の文化者功労に対して贈られる"なにわ賞"は、今年は六回目になる。菊かおる十一月三日の文化の日、本年は本学教授末永雅雄博士が受賞された。さきに受賞された魚澄惣五郎教授、石浜純太郎教授の三教授を擁するその記念講演会を大阪府教育委員会の後援で、十一月二十四日上本町一丁目"婦人会館"で開催した。

十一月二十四日午後一時半から上本町一"婦人会館"講堂で開催した"末永博士なにわ賞受賞記念講演会"は、本学史学科の擁する末永、魚澄、石浜教授の講演であるので、史学考古学に関心をもつ同好の士が在阪のものはもとより、京都、神戸、奈良、和歌山の地からも集って盛会であった。

先ず白川理事長から挨拶があって、石浜教授は"富永仲基について"と題して、大阪が生んだ偉大な天才富永仲基についてその短い生涯と業績について、淡々とした口調で語られ、ついで魚澄教授は"瀬戸内海のもつ地理的要因が、わが国の国民生活にいかに大きい影響をもったかと云うことについて上代、中世、近世とその変遷を解明して先人未踏の見解を発表して多大の感興をひいた。

ついで末永教授は"最近調査の府下の古墳"と題して、苦心して撮影せられたスライドを利用して、大要別項の様な発表をせられたが、聴衆、いや観衆はさながら古代の世界に誘導された感があった。

終って岩崎学長の挨拶があって講演会は盛会裡に終了した。

祝賀晩餐会

講演会終了後席を御堂筋の"大東閣"に移して祝賀晩餐会となる。

講演会も盛会であったが、晩餐会はさらに盛大で、先ず壷井文学部長が開会の挨拶を述べ、岩崎学長の祝辞、白川理事長の乾杯の発声で開宴となった。寛たけなわとなる頃、横田教授の司会で、来会者の感想が聞かれた。まず、大阪府教委を代表して同委副委員長加藤三之雄氏が祝辞を呈する。つず遺跡が多数破壊せられ、刻々危機にひんしつゝある。大阪府下では残る古墳も次第に変形していて特に大都会に近接する関係からその壊滅の日は遠く考えると日本古代文化の中枢地帯である近畿地方では、どんな小な古墳でも決して軽視することの出来ないことを知った。

☆　☆

末永教授講演要旨

戦後いろいろの社会的な事情から、考古学会は厚意で工事着手の前に完全な調査を進めることが出来た。ここでもまた埋葬方法と出土資料が、従来の考古学上の欠を補うものがなかなりあった。かような点を計画になっていた、近畿日本鉄道の中枢地帯の上に有力な示唆を与える資料である。

昨年の六月から九月中にかけて道明寺町の応神陵北方で調査の古墳（前方後円墳一、円墳二）一挙にブルドーザでその盛土を崩す

"ゆるやかな鐘の音が静かに流れております。大阪市の北方なだらかに起伏する千里山、自由と正義の学風を象徴する関西大学の鐘は学業にいそしむ二万教手の学徒達のうえに今日も鳴り渡っているのでございます"

つずいてモーツアルト ロンド イ長調のテーマ音楽が爽やかに聞えてくる

これは関西大学が去る十一月二十三日から来年の三月八日まで毎週土曜日の午後四時四十分から二十分間新日本放送（NJB）の電波に乗せて音楽ファンに贈る『世界音楽の旅』の一駒である。関西大学では最近やかましいわれるPR運動の一環として民間放送を利用することに着目、廿九年には"学部の紹介"卅年には"夜の名曲"の番組をいずれもNJBの電波に乗せて放送する。学校が積極的に放送機関を利用することは目新しいことであり賛否両論が沸騰しているが、とにかく内容、外観ともに一大脱皮を試みている関大の一つの新い行き方として其の成否が注目されよう。なお放送日程はつぎのとおりである

▽第一回　十一月二十三日　北欧諸国（デンマーク、フィンランド、スエーデン、ノルウエー）▽第二回　十二月七日　中近東諸国▽第三回　十二月十四日　ソヴエト▽第四回　十四日　イタリア▽第五回　二十一日　アルプス地方（スイスを中心として）＝以上放送済▽第六回　廿八日　ウイーン▽第七回　一月四日　新年特別番組▽第八回　十一日　中欧諸国（ポーランド、チェコ、ハンガリー、ユーゴー）▽第九回　十八日　ドイツ▽第十回　二十五日　北欧諸国▽第十一回　二月一日　ロンドン▽第十二回　八日　パリ▽第十三回　十五日　イベリヤ半島（スペイン、ポルトガル）▽第十四回　二十二日　南米▽第十五回　三月一日　北米東部▽第十六回　八日　北米西部

NJBで"世界音楽の旅"に贈る関大のPR

音楽ファンに贈る

31年度卒業生就職状況

昨年の倍増えた求人数

十二月で三割が決る

昭和三十一年度卒業生の就職状況は十一月末現在で、企業、官庁、学校、団体、個人とも一位に増えた求人数三六四名に対し大幅の増加である四名となっている。詳細は別表の通りだが就職率は約三〇%で、求人数の大幅増加に対し就職率はあまりいいとはいえない。大会社の求人はほとんど全部終ったから今後は中小企業への働きかけが必要だろう。明年三月までに縁故関係の就職も含めて五〇%は大丈夫だろう。各学部別で一番就職率のいいのは一部商学部の四三・九%、学部の三六・五%とつづいている。学生部が就職課を設けて求人開拓に積極的に乗り出した努力が実ってきたものともいえる。さて今年の卒業者だが大学院、大学一部、短大を合せて三五三一名、一部、短大を合せて三五三一名、短大は相変らず悪く五三名のうち一人も決っていない。

山影就職課長談『今年は求人申込の出足が非常によかった。十一月半ばで昨年の約倍あり、就職決定者も倍近く増えている。喜ばしい限りだが、必ずしも求人数の増加と就職決定者の数は一致せず、これに気をゆるめず最後の追込みをかけたい。』

参議院議員

亀田得治氏講演

関西大学の招聘により内閣委員長として活躍中の亀田得治氏は十一月卅日十二時四十分から約一時間「基本的人権について」と題して京都（の行方等についての講演を千里山五番町事件、砂川事件並に破防法第一学舎講堂で開いたが、学生聴講者七〇〇名で感銘深い講演であった。

31年度就職状況（12月5日現在）

学部別・学部	求職者	就職者	就職率	企業	官庁	中小企業	公署
大学院 法	経	14	2	14.3	2	0	0
学 一	法	540	197	36.5	91	103	3
学 一	文	254	23	9.0	6	14	3
学 一	経	264	219	38.8	96	112	11
学 二	商	246	106	43.9	41	63	2
学 二	法	109	10	9.2	1	5	4
学 二	文	32	1	3.2	0	2	0
学 二	経	92	4	4.3	2	2	0
学 二	商	37	2	5.4	2	0	0
一・二部	短大	53	0	—	0	0	0
計		1,941	564	29.0	241	300	23

団体・個人とも一位に

第三回関・立・近三大学優勝雄辯大會

長柄審査委員長から優勝杯をうける森本君

去る十一月二十三日勤労感謝の日を選んで、関大、立命大、近畿大の三大学優勝雄弁討論大会が天六学舎で開かれた。各大学からの五名宛の代表弁士は長柄審査委員長外岡本（関大）辻（立命）吉井（近大）の三氏審判のもとに行われた。その結果団体では関大が優勝し、立命大が第二位となった。又個人でも関大の森本賢一君が「死刑制度に思う」と云う論題で堂々の論陣を張って八五点七五の最高位優勝を遂げ、無論関大の伝統は生彩陸離たるものがあった。

この大会は十分間弁論し五分間討論すると云う特異の方式であるから付焼刃で如何に巧妙な弁論があっても、討論で打壊される結果となるから、真の確信論拠に立脚せねばならないところに意義がある。個人優勝の森本君や「労働差別の観念」の論題で論陣を張った細川君（関大）の如きは実に立派であった。

大阪文化の功労表彰

"なにわ賞"

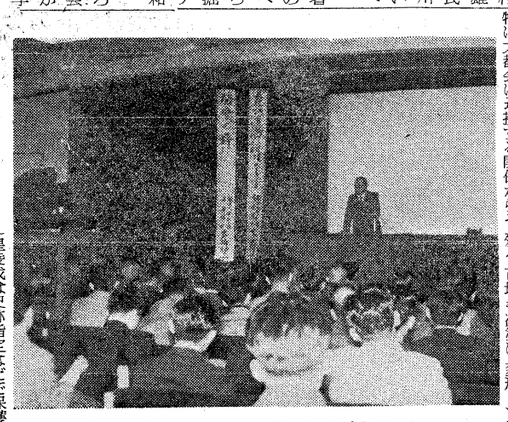
なにわ賞は昭和二十六年十一月十六日、大阪府教育委員会告示第十三号で公示された"なにわ賞"贈呈規程によって、府民一般の文化生活の向上に努力して、その成果が特に顕著であると認められるものに"なにわ賞"を贈呈してその功績を表彰するものである。

なにわ賞は昭和二十六年以来毎年十一月三日の文化の日に表彰を行っているが、本学の関係者の受賞は、昭和二十八年第三回の時、文博魚澄惣五郎教授、同廿九年第四回の時、石浜純太郎教授が受賞し、本年は文博末永雅雄教授が受賞したもので、史学科の教授が三年連続して表彰を受けたことは、本学教授が大阪の文化昂揚に寄与することは大なるを認められたもので喜ばしいことである。

▽末永教授略歴　明治三十年大阪府生、文博、京、東卒、泊園書院、京大、関大、竜谷大の講師をつとめ昭和二十四年本学教授、大阪外大講師を兼ね、また丸石製薬監査役、日本西蔵学会会長である。敦煌、西夏などを研究、西域出土の仏典に詳しい。「富永仲基」「東洋学の話」「支那学論考」の著書、研究論文は「東洋学報」「史林」「芸文」「斯文」その他専門誌に発表されている。現住所は大阪市住吉区墨江中一ノ四五

▽魚澄教授略歴　別項

▽石浜教授略歴　明治二十一年大阪府生、明治四十四年東卒、泊園書院、京大、関大、竜谷大の講師をつとめ昭和二十四年本学教授、大阪外大講師を兼ね、また丸石製薬監査役、日本西蔵学会会長である。敦煌、西夏などを研究、西域出土の仏典に詳しい。「富永仲基」「東洋学の話」「支那学論考」の著書、研究論文は「東洋学報」「史林」「芸文」「斯文」その他専門誌に発表されている。現住所は大阪市南河内郡狭山町池尻



末永博士の講演、婦人会館にて

ボクシング　明大に快勝

復活第3回関大〜明大定期戦

関西大学対明治大学拳斗定期戦、誇る天木は1回軽に打ち合いからOFE級小川はインファイトして強打を放つ笹岡のしつこい攻撃にまきこまれ危なかったが、二回以後右ストレートを好打して互角に戦ったが一回の失点が挽回出来なかった。

L級オリンピック候補稲葉に対し松本は最後まで互角に打ち合い最後まで健斗した。

L・W級清水は元全日本W級チャンピオン中山のリーチを利したジャブ、カウンターに苦しめられたが三回左フックでダウンを与えてからは一方的に打ちまくり、一、二回の劣勢を挽回して快勝した。

尾崎最終スタンドにてタックルでポイントを稼ぎ、関学川崎を降しタイに持ち込む。西脇攻勢に出て一点を追加し、岸本は関学鎌田の斗志にまかせた荒削りの攻撃に、老巧な業をもって軽く勝ち3—1、いよいよ優勝の色を濃くする。丸谷は練習中に肩を痛め負傷を押して出場したが業権し、つずく佐々木は主将の貫録十分、関学清水の反撃を押し切り、若林はマット際の僅かの気のゆるみから不覚にもフォール負けを喫し、4—3と食い下られたが、敢は一時は関学中西に二ポイントずつのタイに持ち込まれたあと、鮮かにバックを取って決勝点を稼ぎ、ことに優勝決定した。全日本級の宇賀は関学沖に問題ではなく、西日本で五連勝を遂げた。

（監督松井清記）

関西大学新聞、関西大学新報、（経）＝以上関西大学新聞、江村校友機関紙『関大』三者による第一回こん談会は十一月二十七日午後六時から天六学舎一階の評議員会議室で開かれ、今後母校発展のため緊密な連絡を保ちながら取材活動に励むことを決議、盛会のうちに午後九時散会した。

現在関西大学には学生の手で発行される関西大学新聞（一部＝月刊）と関西大学新報（一部＝半月刊）さらに校友のための『関大』と三種類の新聞が発行されているが、今までこの三者には何の連絡機関もなく、それぞれ独自の方法で歩む。三、学園生活を豊かにするため紙面充実にさらに努力を重ねることなどを話合った。関大の"眼"ともいうべき三新聞が大同団結して接触を深めたのは今後のプレスキャンペーンに大きな威力を発揮するものとして大きな期待が持たれている。（S）

取材に緊密な連絡を

＝関大新聞、関大新報、『関大』＝

第一回三社こん談会開く

（解説）

校友の動き

—校友調提供—

（　）内は勤務先

▽安藤羊蔵（昭7専商）福岡市渡辺通五丁目電停前
▽天野栄蔵（昭26学一法）神戸市兵庫区熊野町三丁目四九（兵庫県水産部生産課）
▽石橋博司（昭30学一法）大阪市都島区相生町七三（大阪市宝栄小学校）
▽池上春太郎（昭12専二法）尼崎市今北字弓田三五
▽榎本隆（昭18専二経）大阪府泉南郡東鳥取村字下出七六七（大阪金属工業株式会社）
▽小沢宗（昭14大哲）大阪市東成区中道元町一の八五
▽大原昭二（昭22専二法）尻崎市長洲大門五三
▽金尾保雄（昭28院文研）枚方市東成区大今里本町六丁目四二三（広実郁雄会計事務所）
▽河野益夫（昭5専商）豊中市野八丁目二三七の二（大阪市交通局労務課）
▽樫平益夫（昭16二商）大阪市西成区姫松通一丁目一（大阪府警察部警ラ課）
▽杏中一雄（昭5専法）大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺一〇五（大阪陶業株式会社佐野工場倉庫課長）
▽角川勇次郎（昭6専商）大阪市生野区林寺新家町一四六（十三中学校校長）
▽貝原郁蔵（昭6専商）箕面市桜井三四三朝日新聞桜井販売所内（朝日新聞桜井販売所）
▽柿本健一（昭28院文研）大阪市大学蔡野（大阪家庭裁判所調査官）
▽星野徹夫（昭25専二法）大阪市旭区生江町二の六七
▽堀江喜平（昭7専経）岐阜市橋詰町八（殖産住宅相互会社販売役・名古屋支店長）
▽昌子耕三（昭19専二経）島根県簸川郡斐川村学頭軍原（中国電力株式会社島根県支店）
▽前坂京成（昭27短大二）布施市中小坂五八五、宮川方
▽松田英三（昭28学一経）守口市紅屋町三一（大阪府三島地方事務所）
▽松尾義弥（昭13専一商）神戸市灘区魚崎町五五五
▽真木純夫（昭29学二商）豊中市服部四〇四
▽松田真一郎（昭17大商）大阪市東区安土町三
▽真期隆次（昭16大法）尼崎市長洲大門五三、大原藤次郎方
▽三浦純平（昭28学一法）尼崎市七松橋八二（江井ケ鳴酒造株式会社販売課）
▽宮田重治（昭31学二経）神戸市灘区記田町二丁目一〇（電々公社神戸中央電報局統計課）
▽三宅靖浩（昭26学一商）東京都中央区銀座東五の二、白鶴酒造株式会社東京支店内（白鶴酒造株式会社東京支店）
▽三宅淳士（昭30学一法）京都市左京区下鴨宮崎町七三、小松一郎方
▽明珍昇（昭27学二新）布施市弥刀源氏ケ丘一三（成南中学校）
▽三沢基二（昭29学一法）神戸市灘区灘北通一〇の四（昭和貿易）
▽神門要二（昭10大法）神戸市菅合区浜辺通四丁目神戸港駅鉄道官舎
▽芝本幸二（大15大法）大阪市城東区南中浜町三の六一（タイガー産業株式会社）
▽竹内敬（昭13大法）大阪市東住吉区田辺本町五丁目六三
▽高梨孝子（昭28学一法）大阪市東淀川区瑞光通三の四（大阪家庭裁判所調査官）
▽竹内広（昭21大経）西宮市鳴尾町里中一丁目九
▽辻菊雄（昭12大法）八幡市折尾町八幡巻一
▽中植巻一（昭8大経）大阪市大淀区本庄川崎町三丁目二四
▽中西武（昭28学一法）守口市南寺方北通一丁目一四
▽永井次郎（昭25学一商）尼崎市西宇南開七一一
▽西川敏春（昭13大経）西宮市北口町二〇六（京阪神急行電鉄調査室）
▽林武彦（昭9大商）大阪市東淀川区三国町六六の一（大阪天満地区電話局第一加入課）
▽原田年夫（昭12大法）西宮市染殿町六二市営住宅三三号
▽馬場貞次（昭29学二経）西宮市今津網引町六
▽畠山来（昭19専二経）堺市浜寺船尾町西三丁二八九の二（高島屋装飾部）
▽船本栄一（昭26学一政）大阪市西成区今池町四五（コンドル興業株式会社代表取締役）
▽福富大吉（昭14専二法）島根県邇摩郡温泉津町大字福光、森方（温泉津町税務課長）
▽藤本峰雄（大15大法）豊中市穂積九四三（薬興社取締役社長）
▽本多猛（昭28学一法）富山市初音町八一（富山産業銀行上市支店）

同窓会に、御商談に、大阪より一番近い温泉郷　同窓の御方には特別割引
国際観光旅館
錦溪温泉油屋
営業主（昭19卒）山田　清
南海高野線三日市町下車スグ（ナンバより45分）
電話河内長野 14. 338. 356
大阪案内所（77）8590

石炭・コークス
藤岡商事株式會社
大阪市西区江戸堀北通2丁目1
電話大阪㊹3168

株式会社竹中工務店
取締役社長　竹中錬一
本店　大阪市北區中之島三（朝日ビル）電話大阪26局代表 7591 8591
營業所　札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋
京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡

株式
公債・社債
投資信託
野村證券
大阪・東区安土町二堺筋
アベノ橋北詰・上六近鉄会館
なんば南街会館北隣・京都四条通堺町角
神戸栄町通一・和歌山十番丁公園前

丸善石油株式会社特約店
商標ツバメ印　伊丹市平松町四丁目六番地
電話伊丹表 三三七一—三 三三四八〇〇 三三七九五 倉庫 北村スタンド 本町スタンド
取締役社長　小林産業株式会社
小林君次

大阪名物
名譽大金賞牌受領
栗おこし
大阪南橋
我夫黒本舗
専務　植村隆幸（昭27年学経卒）
電話㊱2982・5894番
フクワフタツ　イワコシ
関大先輩各位の御援助を賜り度伏してお願い致します
御土産・御贈答に
御一報下されば直に見本携えて参上致します

鉄骨・橋梁・鉄塔・水槽・設計製作
鉄骨建物の解体・移築補強工事請負
大阪鉄工株式會社
代表取締役　瀬川庄三
大阪市大正区泉尾梅之町4丁目45
電話泉尾㊺3033・3034

スポーツ関大

戦績表

レスリング　西日本五連勝

全日本で明大に敗る

昭和三十一年度秋季西日本学生レスリング・リーグ戦は、十一月九日から十二日まで神戸YMCAで挙行、優勝をかけた関関戦は六〜3で勝ち五季連続優勝を遂げたしかし十一月十八日に難波の体育館で行われた全日本王座決定戦には、東関東の覇者明治大学に9〜0で大敗した。

戦績は次の通り

11月9日　関大7〜2名城大
10日　関大9〜0近畿大
12日　関大9〜0同大、関大6〜3関学

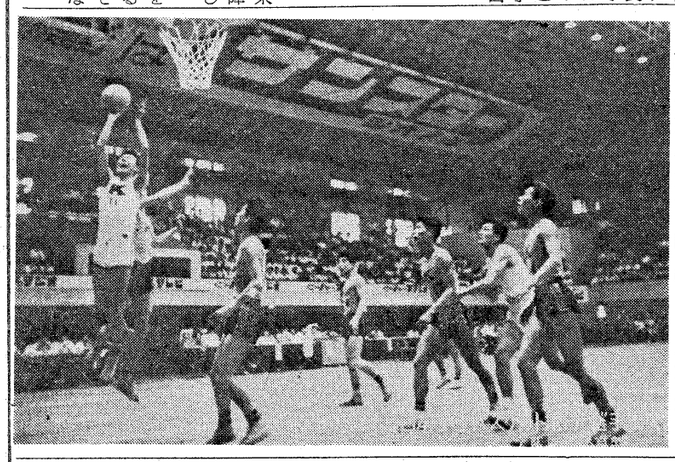
フライ級　小中　判定　田村○
○尾崎　判定　川崎
バンタム級○西脇　判定　曽根
○岸本　判定　鎌田
フェザー級丸谷　裏樫　植木○
○佐々木判定　清水
ライト級　若林（体固め 4分40秒）中田○
○乾　判定　中西

園田（3段跳）古川（ツカー）両選手涙をのむ

第十六回オリンピック大会（メルボルン）

十一月二十二日から十二月八日に出場し、7メートル12で予選通過記録の7メートル15にわずか3センチ足らず、田島政治（読売新聞＝7メートル11）とともに惜しくも失格、また古川選手は第五回までオーストラリアのメルボルンで開かれた、"若人の祭典"第十六回オリンピック大会に関大から聞＝OBの園田裕四郎（八幡製鉄）＝走幅跳＝と古川好男（四年）＝サッカー＝両選手が日本選手団に加わり大いにその活躍が待たれたが、園田選手は第三日にメイン・スタジアムで行われた走幅跳の予選は力強いオーストラリアの攻撃をはねかえして、7メートル12の記録をあげ、ベルリン両大会で幾多の名選手を送った関大は、これを機会に来るべき四年後のローマ大会に備えて選手育成に一段と力を注がねばならないだろう。

【評】関学田村は先取したあと、関大ウエルター級○宇賀（体固め 3分30秒）沖



〃〃〃

学生

〝日本発見〟ドイツに学べ

岩崎學長の講演要旨

31年度校友総会

去る九月、オランダのアムステルダムで開かれた国際社会学会に出席され、其の後三ケ月間にわたり欧米諸国の学事視察をされた岩崎学長は、その専攻する政治学、国家、社会学者としての立場から欧米十五ケ国の民情並に国民性をつぶさに観て感じたことを、十一月八日の校友総会で、「欧米の民俗と国情」と題して話された。

アメリカは三十五年ぶり、欧州に軍事費で多額の援助をし、第二は三十三年振りで行ったが、かくれた跡などそのままにして写真にの真価を発見した。欧州各国どには他国にいろいろな形で援助費を出している。そうした不生産的な出費に富を消費しなければならないのは、ソ聯と云う仮装敵国があるためで、ゼイ肉がついて中風でおれるのを救っているのはつまりソ聯と云う刺戦があるおかげだということになる。

欧州には大国はなく、中小国であるが、中型国家にも三つの型がある。一つはイギリスで老大国のプライドが手を離れてきて望みの一ぱい少ない国である。二つにはフランスで、西ドイツでは頭が下った。第一に国民の目の色がちがう。空気がちがう、服装がちがう、民族的誇りの強いのに感心した。遊覧設備がない。名所旧蹟など爆撃されてもってはいないが、遊覧地として活路を見出している。三にはドイツで、イギリスほど誇りをもってはいないが、遊覧地として活路を見出している。三にはドイツ、イタリーで、イギリスほど誇りを悔はあるが、一国一城と植民地が手を離れてきて望みの一ぱい少ない国である。二つにはフランスで、西ドイツでは頭が下った。第一に国民の目の色がちがう。空気がちがう、服装がちがう、民族的誇りの強いのに感心した。遊覧設備がない。名所旧蹟など爆撃されてこんどの外遊で私は戦後の日本が世界の大国を相手にして最後まで戦った。敗けたのは原爆の暴挙によったのだという理由からむしろ畏敬している。

また日本の商品は世界のすみずみまでゆき渡っている。メイドインジャパンと云えば、良質で安いと云うことになっている。

私は日本は世界の国家のうちでは中級であるのではないかと思うた昔の夢で一流国家、大国などになることの野心を決してもつべきではない。栃錦になれ、鏡里になることを望むなといいたい。私は中級国家こそ神の求める最も健やな国家であると思う。西にドイツあり、東に日本ありと大いに希望を感じた。

（文責記者）

第三の小国は、デンマーク、ノルエー、スエーデン、スイスなどであるが、中型国家にも三つの型がでてどこへ行ってもきれいだ。コペンハーゲン、ストックホルム、オスローなどの美しさ、この世の天ない国である。二つにはフランスないが、貧乏人もまたいない。これがこれら小国に誇りで、特に社会福祉制度がきわだっている。こうした国民生活の出来るのは、大国になろうと云う野心がなく、軍備などに金をつぎこむことがない結果だ。

こんどの外遊で私は戦後の日本の姿をはっきりと見てきた。一人の紳士――酔っていても紳士は矢張り紳士である――が、車中持込み禁止の生きた犬を連れていた。乗客はウサン臭そうな顔をしては、時々紳士を盗み見る。そこへ車掌が現われたので乗客は一斉に紳士に眼を向けた。紳士は即座にその犬の前肢二本、後肢二本を、いと鮮かに手際よく、左右の手で握るや否や、サット持ち上げ首に巻き、ニッコリ笑って申すよう。「襟巻と思って下さいよ。たゞあったかい臓腑（モツ）と骨（ゴウ）が入っているだけなんで……」居並ぶ乗客――中には狐の襟巻を巻いた婦人も数名居たのである――は快い爆笑、車掌は苦笑。実に見事な演技であった。無事パスしたことは改めて云うまでもない。慌しい歳末になったとて心のユトリだけは持ちたいものである。除夜の鐘の音を聞いても、百八の煩悩は決して消え去るものでは無い。

（筆者は農博・経済学部教授）

カット　独立所属　島津冬樹

白河の関

日本ところどころ　唄をたずねて【12】

藤本浩一

写真は白河関址近くの民家

会津盤梯山から白河の関跡を訪う。みちのくの関門白河の関は、中世ここを通過する多くの武人、雅客に大きな感銘をあたえたらしく、残されている歌の数も少くない。一日、古代をしのぶ街道を歩いてみたく東北本線の白坂という小さい駅へ降りたのである。

駅前には軒の傾いた民家が一列に並んでいるが東方へ遠く田畑がつづいている。民家を出放れたところで国道になり、左すれば北へ一里で白河市に達し、右すれば凡そ三キロで下野（しもつけ）との国境となる白坂の部落がある。

白坂までは凡そ三十分、雨あがりの曲りの多い道である。白坂はゆるい傾斜のある街村で、道の傍らに威勢よく流れる小川があって食器を洗っている女もある。江戸時代の陸羽街道で五六十軒残っている村の南端を少し離れたところに明神の森があり、その背面が国の境界になっているが、ここを白河の関跡であるという一説がある。

し　かし、寛政十二年（一八〇〇年）ことを踏査して関跡を顕彰しようとした松平定信はこれを採らなかった。村民達に聞いてみてもわかるはずもない遠い昔のことである。

目的地はこの街道からは山越その一里東方に並行している古道にあるので、白坂の明神を望むところから狭い山道を辿ってとぎれかけた丘となり、街道からはやや高く台地を成すところが、古代から中世へかけての白河の関のあった所であると伝えられている。台地の上り口に玉垣があり、一基の自然石の記念碑が見える。正面に「古関蹟」と記され、裏側には松平定信がここを関跡であることを決めた碑文が彫ってある。

一面に並んで彫ってある。西行がここを通ったときは関は既に廃れていて、柱にこの歌を書きつけたということであるから既に八百年の廃跡である。

古道はかなり広げられ、立派な国道になっているが、通る人もなく曲折多く南北へつずいている。その両側はわずかに稲田を残して低いけれども重なりあった山並が雑木に彩られてつずいている。那須の荒野へ通う道であり、北へほそぼそと続く果にはえぞの住むというみちのくへと、足もとを流れる谷川のはるかなる奥州の関門であることに変りはない。街村としての家の構や、村の形にも奥州的なおちつきがある。道はいたずらにわびしく、トラックなどの往来もない路傍に牛車の車体を軒に立てかけてあるはなおそのままで現代の旗宿を語っているようである。

旗宿を北に通りぬけて、白河市への道をとらず茂崎というところから再び間道を辿って白坂への山を越える。途中に出会う人もなし金屋という谷川沿いの民家三軒あるところを中間として白坂に出る。白坂を出た上り列車は間もなく那須の高原を一気にかけ下っていくことになる。

（筆者は昭二専文卒・日本詩人会員）

丘　には杉の巨木が立ち並び昼も小暗い苔の道が石段に続いて、高いところにものさびた社殿がひっそりと鎖まっている。人影もない境内に見上げるような大きな歌碑が立っている。

音　もなく、ほの暗い樹間に瞑目すると古人の旅情がそのまゝ自分の心に通ってくる。このとき、私はふっと古諸（こともろ）の城跡の石垣に刻んであった若山牧水の歌を思い出した。

かたはらの夏草の花語るらくほろびしものはなつかしきかな。

荒れ果てたまゝ苔の生えている関跡は、なまじ麗々しい復原的な建物などないのがなつかしく古関の風がそのまま残っていることがうれしかった。

この関址を南端とする旗宿の部落は、南一キロ足らずの峠をもって下野との境となっているから今も奥州の関門であることに変りはない。街村としての家の構や、村の形にも奥州的なおちつきがある。道はいたずらにわびしく、トラックなどの往来もない路傍に牛車の車体を軒に立てかけてあるはなおそのままで現代の旗宿を語っているようである。

旗宿を北に通りぬけて、白河市への道をとらず茂崎というところから再び間道を辿って白坂への山を越える。途中に出会う人もなし金屋という谷川沿いの民家三軒あるところを中間として白坂に出る。白坂を出た上り列車は間もなく那須の高原を一気にかけ下っていくことになる。

（筆者は昭二専文卒・日本詩人会員）

新顔も迎えて61名

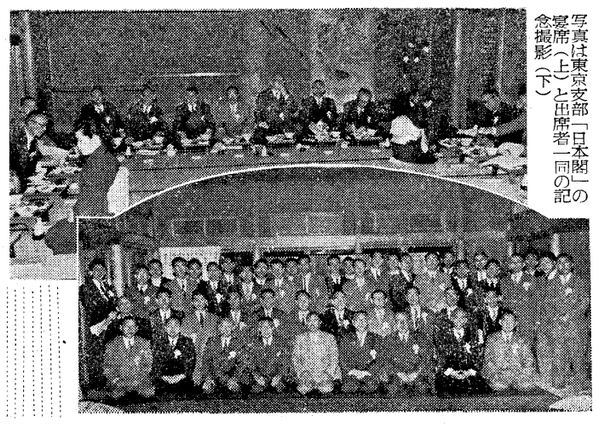
久井専務にきく大学の現況

（東京）支部の総会を十一月六日東中野の〝日本閣〟で開いた。あいにく当日は昼すぎからの降雨で、出足をはばまれたが、久々で上京された久井専務理事と板橋教授を迎え、また元富山県知事矢野兼三氏もはじめて出席され、代議士田中久雄君など六十一名に及ぶ盛会であった。

久井専務から飛躍発展の一途をたどる母校の現状並に今後の具体的方針を聞いて校友一同感銘を深くした。

出席者――久井忠雄、板橋菊松、○田中久雄、矢野兼三、本郷桂、○小野塵一、村井森五郎、田辺明

写真は東京支部「日本閣」の寄席（上）と出席者一同の記念撮影（下）



支部名を改め

忘年会を兼ね総会

（愛知）十二月三日（月）午後六時から名古屋市西区明道町の料亭〝ながい〟で、本年最後の総会並に忘年会を開催した。集るもの四十九名の多数で協議決定事項は①従来の東海支部の名称は県外をも含める名称になるので愛知支部と改称する。②会員が名簿上百八十三名に上り地域が広いので連絡上不便である。

東海　愛知

四郎、植松圭太、今野勝久、河合治、中山幸市、畑孝二郎、鈴木康之、中村儲吉、香西政一、新井忠一郎、近藤竜雄、井口一一、諏訪富三郎、荻野勉、渋田昇一、山尾義春、田中寿蔵、野島豊志、田中敏雄、簡井淳造、沢田勇夫、南出弘、亀井寛、小山八郎、川谷勝哉、多田米蔵、弓削田義郎、丸物彰、安達竹七、秋元東洋男、狐塚正雄、大田宗利、箕浦市郎、片岡弘、吉本英雄、中島利夫、村崎正幸、塩崎博、河西清、吉田有宏、沢渡三重郎、村上精一、平田儀一、中川啓、上原悟、井上真吾、新田富治、韓行煥、吉岡郁夫、池上勇、高梨研蔵、亀井敏雄、伊藤孝行、甲斐亀夫（卒業年度順）

遥に大學を偲ぶ

（備後）広島県東部備後地区在住校友の集いである秋の総会は十一月二十四日（土）午後五時から久井専務理事、安井校友課長の出席を得て福山市駅前大通の料亭〝加寿美荘〟に於て開催した。久井専務理事の会議事の予定が切迫している為、総会は将来への発展につき力強き御話を伺う。

ついで総会議事に入り、支部規約の承認、役員改選を終え、支部長に河合衛一氏が再選、副支部長に林哲夫、坂口昇、赤松千代史の各氏、幹事に若干名が選出されまた顧問として金尾建雄、小林和一両氏が推された。

この後河合支部長より支部会員八百村稔氏の評議員当選の披露があり、地方より選出の数少い評議員として同氏の活躍を期待していよいよ懇談会に入り、安井校友課長の懇切なる母校近況の説明に「関西大学案内」の写真を拡げ、幹事の増員を行った。

ハ、其他、母校の植樹寄附、校友会費（年三百円）の本部納入について協議がなされた。

終って文学部吉永登教授の〝丹郷土史研究〟商学部安田信一教授の〝外遊放談〟等の興味津々たる講演あり、会員一同感銘を深くした。

それから記念撮影の上、寝に移った。一人の紳士――酔っていても紳士は矢張り紳士である――が、車中持込み禁止の生きた犬を連れていた。乗客はウサン臭そうな顔をしては、時々紳士を盗み見る。そこへ車掌が現われたので乗客は一斉に紳士に眼を向けた。紳士は即座にその犬の前肢二本、後肢二本を、いと鮮かに手際よく、左右の手で握るや否や、サット持ち上げ首に巻き、ニッコリ笑って申すよう。「襟巻と思って下さいよ。たゞあったかい臓腑（モツ）と骨（ゴウ）が入っているだけなんで……」居並ぶ乗客――中には狐の襟巻を巻いた婦人も数名居たのである――は快い爆笑、車掌は苦笑。実に見事な演技であった。無事パスしたことは改めて云うまでもない。慌しい歳末になったとて心のユトリだけは持ちたいものである。除夜の鐘の音を聞いても、百八の煩悩は決して消え去るものでは無い。

（筆者は農博・経済学部教授）

百六十余名集った

大阪市役所支部総会

大阪市役所支部総会

十一月二日（金）午後六時より新装の西成区役所講堂に於て、母校側より岩崎学長、安井校友課長を迎えて開催、支部会員出席者は百六十二名であった。

中辻副支部長の司会で、経過報告を丁藤幹事述べ、村上支部長の挨拶次に此度の関西大学評議員の当選せられた神宅賀寿恵氏の挨拶があった。

終に岩崎学長の母校近況報告並びに外遊所感のお話は全員一同に深い感銘を与えた。最後に懇親張り万歳を三唱して散会した。

南部（中川、熱田、港、南）各区に、また一宮、豊橋、岡崎の三市に地区支部を設ける。

③部部並に県外の在住者は勤務先その他の関係上、各人の希望する右地区支部に所属すること。

④会費（月額五十円）徴収する。

⑤母校へ記念植樹として天然記念物に指定されている四角竹を寄附したい。

右の通り決定して協議事項を終って開宴、かくし芸が続出する有様、最後に母校並に支部の万才を三唱して九時散会した。

出席者（○印幹事）伊藤国雄、伊藤武之、○石原宗彦、上田正治、江上春雄、遠藤鳴、小鹿義治、岡田英彦、○奥田善夫、○大路美幸、川原時彦、河田旭次、河辺三郎、河本昌英、木下虎一、岸智、斎藤泰郎、塩川章、下出宏造、○白羽弥三、鈴木高定、鈴木国、北村敏男、喜納政秀、黒田英治、楠崎優、斉藤潤治、高井秘、都筑正雄、鶴田功、○天神勇男、照本実、堂浦詢爾、中島貞一、○中島秀雄、中根孫一、西尾不三男、古川明之、藤本伊三郎、松広寿衛、水野剣二、宗本利市、○森崎錘一、森実、○矢野六郎、矢野国臣、山崎長義、○山田鍊一、山村義房

支部長　松広寿衛

副支部長　河田旭次、照本実

顧問　中根孫一、宗本利市

相談役　子原一夫

幹事長　白羽弥三

支部事務所　名古屋市中村区補宜町五ノ三四、大和商事K・K内、電話五四六四八2・8681

千里山（随想）

〔14〕

年の瀬に苦しみ、逢瀬を楽しむは凡愚の常。とは云うものの年の瀬を楽しみ、逢瀬に苦しむものも、亦皆無とは申せぬ。瀬とは、大槻文彦博士によれば「塞き止マル所ノ意。①終ノ頼ミ所ノ意ニテ、其処ヲ指ス語。②時代への郷愛をそう。「それはお前が老人になったせいだ」と憎まれ口を叩いた悪友は暮となれば、人一倍せせこましく働くのである。ある年の大晦日であった。わたくしは彼の家を訪問したと思し召せ。正月料理はすでに用意され、妻君は子供達の晴着の用意に忙しい。やおら二人で飲み初めたまではよかったが、除夜の鐘さえ夢うつつ、かねて用意の正月酒を飲み干した。去る年、忘年会の帰途、山手線の中で実に愉しい風景に接きとし生けるもの、凡てこれ死ぬべく運命づけられてはいるが地球は未だ当分死滅しそうにも思われない。まあまあ心を安んじて年の瀬を楽しむことを賢者のとるべき道だと思うが如何でしょう。

ハシリのたこ揚げ、ハシリの羽根つきはまことに楽しく少年のころ、ハシリのたこ揚げ、ハシリのルベルの騒音は決して快適なものではないが、一日クリスチャンなどと眼に角たてゝどがめ立てするには及ぶまい。わが日本は酒屋も遂に店じまい、わたくしは全く痛み入った。「主人はお正月、いつも外でたべきまいに感激したことであった。

街の歳末も亦楽しい。ジングルベルの騒音は決して快適なものではないが、一日クリスチャンなどと眼に角たてゝどがめ立てするには及ぶまい。わが日本は酒屋も遂に店じまい、わたくしは全く痛み入った。「主人はお正月、いつも外でたべきまいに感激したことであった。

年の瀬に思う

鑄方貞亮

山櫻10本母校へ

期待する支部活動

（芦屋）十一月二十五日（日）午後五時から芦屋市大原町〝竹園〟で支部総会を開いた。支部会員一百十名、返信九十四名、出席者一百九名、母校の西村理事、賀屋教授、安井校友課長、神戸支部長の山崎敬義氏らのご出席を得、田辺支部長の挨拶について竹谷支部理事から昭和十六年二月支部発足以来今日に至るまでの経過報告、山村会計理事からは会計報告があった。また母校西村理事の大学の近況を詳しく説明を受け、武田蔵之助先生から大学に対する将来の希望をのべられた。

ついで会則の審議、役員の選任等があって懇親会にうつり、終了後、母校関大の歴史、学園生活と七十周年記念式典画を鑑賞し、母校の躍進的発展ぶりに驚異の目を見張り、協力を誓って万歳三唱して閉会したのは九時であった。

引つづいて理事及び幹事会を開いて支部今後の方策目的達成の諸事項を協議し会計理事に山村氏、幹事長に藤原氏就任、三十一年度の行事予定計画、会員宣言を審議決定し、母校の学園緑化の造園計画に賛して支部名儀で山桜十本を寄贈することを可決した。

当日の決定した支部役員

▽顧問　武田蔵之助、賀屋俊雄、下条小野石衛門、越智比古市、図師親徳、前田軍治、三木甚太郎

▽支部長　田辺由郎

▽副支部長　竹谷裕至、松田秀彦

▽理事　茶谷薫重、小村重次、直吉巳一郎、西村正雄、河内基一、山村康六、加藤信之介、立花蓮蔵　【会計】山村鶴千代

▽幹事（長）藤原仁、松谷輝光、長谷川研三、原田和好、畑本哲也、井上清、大江宗治、金尾建雄、河合衛一、佐藤道夫、坂口昇、谷川律夫、田辺士郎、高田義幸、三島孝、八百村稔、吉本厚造、沢本強、赤松千代史、高地幸則、筒井密義（五十音順）

千里山大学ホールで

秋季総會開催

（中豊）十一月二十四日（土）午後一時半、千里山大学ホールに参集し、先ず学内見学、大学の映画を観賞し、岩崎学長から欧米の現状につき談話を聴き、学生諸君のブラスバンドの演奏があった。四時半から大学ホールで総会を開き、安富支部長から挨拶と経過報告の後、役員の改選をはかり今回は支部発展のため新しく支部長を選ばれたい旨要望したが満場一致、支部長に安富、副支部長に榎原武雄氏を再選し激励した。なお幹事の人選は支部長に一任することに決った。

総会終了後懇親会に移り、会の発展につき活発な意見の交換あり学生時代の思い出の話に花が咲き七時半散会した。

出席者　伊丹啓次、加藤孝明、川島保春、横田敬治、竹村奈良長、中山慶造、村田義夫、安富敬作、藤井豊光、小林良夫、榎原義一、榎原武雄、安久諄、先山保蔦、佐々木豊明、木村弥策、木下昭二、水谷揆一、宮田武敏、福本静馬、荻野環

支部旗の下に総会

吉永・安田両教授が講演

（伊丹）十一月二十五日（日）午前十時より、景勝の伊丹市緑ケ丘クラブに於て挙行、校友会伊丹支部旗（水責で万歳を三唱して散会したのが谷氏寄贈）のもとに馳せ参じた会員は三十二名の多数にのぼり頗る盛会であった。総会は先ず田口副支部長の開会の辞に始まり、次に深川支部長（母校評議員に当選）の挨拶があった。磯野監事より事業並びに会計報告があり、議事に入る。

イ、会則改正は支部会費の増額を決議。

ロ、幹事会は会員遂増に鑑み若干幹事の増員を行った。

ハ、其他、母校の植樹寄附、校友会費（年三百円）の本部納入について協議がなされた。

終って文学部吉永登教授の〝丹郷土史研究〟商学部安田信一教授の〝外遊放談〟等の興味津々たる講演あり、会員一同感銘を深くした。

それから記念撮影の上、寝に移る講演あり、会員一同感銘を深くした。

植樹を寄附

千里山昭八会

毎月例会を開いている千里山昭八回、十一月の第四五回例会は二十八日（水）午後六時から阿倍野〝大市〟で開いた。月末であったせいか支障を来たす者が多く、会する者例月よりは少なかった。幹事から諸報告があって、〝関大〟新聞にも発表されている母校の造園計画記念植樹寄附は、昭八会として金二万円五百円で楠一本、セタセコイア五本、ユーカリ二本を寄贈することに決定した。小宴しばし、愉快な数刻を過して、来る十二月八日の校友総会には挙って出席することを申し合せて午後九時半に会を閉じた。（平井三郎）

法句俳句

鳴子会（大阪）

寺の道胡麻叩きつゝ教ぐれ　鈴木路峰

四山みな紅葉に早し湖の航　鎌田杏花

紅葉茶屋の京人形というよき名　都馬北村

小春とて赤い靴はき出掛けたり　岡部雷三

石段の乞食の膕や小六月　小林牛花

淀の瀬に小春の日さし和かに　別城天洋

棗の実こぼれこぼれて冬めきぬ　中村枯木

寺小春句座に婦人の髪匂ふ　阿久根砂村

昼の月懸けて小春の天深し　富永富竹雨

山小春鵙の衒をよく返し　西口百艸

つどい

関西大学学生募集

大学院

修士課程　法学・文学・経済学　各研究科

博士課程　法学・文学・経済学　各研究科

学部（第一部＝昼間・第二部＝夜間）

法学部　法律学科　政治学科

経済学部　経済学科

文学部　英文学科　国文学科　哲学科　仏文学科　独文学科　史学科　新聞学科　東洋文学科

商学部　商学科

學部一年次試験

出願　1月16日より

試験　経・文2月24日、法・商2月23日、経・文2月22日、法・商2月25日

地方試験（第一部のみ）

試験地　高松―香川大学　福岡―九州大学　広島―広島大学　金沢―金沢大学

出願　1月16日～2月18日

試験　2月24日

第二部二次試験

出願　3月7日～3月22日

試験　3月24日

学部三年編入

経・文・商（第一部・第二部）

出願　3月7日～3月20日

試験　3月23日

第一高等学校

出願　2月21日～3月2日

試験　3月4、5日

第一中學校

出願　3月1日～9日

試験　3月11、12日

◎入学要覧（要50円〒8円）

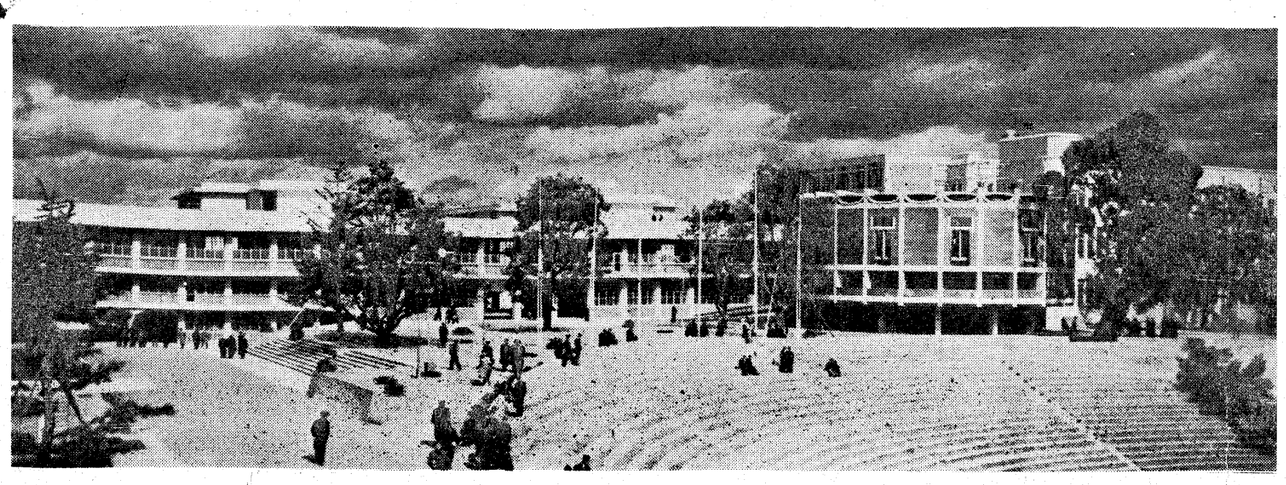
関西大学庶務課へ

大学院・学部第一部＝吹田市千里山

学部第二部＝大阪市大淀区長柄中通二

関西大学第一高等学校　大阪府吹田市垂水

関西大学第一中学校　大阪市大淀区長柄中通二



内外特許、商標事件専門

岸本特許事務所

弁理士　岸本芳夫

同　川久保勉

事務所　大阪市厳島区北浜四丁目浜側、万成ビル　電話大阪㉓一四八七・㉖五五六五

岸本宅　枚岡市額田町五八六　電枚岡六五五